

トキ野生復帰にむけて

61



年賀状にトキ

トキの画像を年賀状用に提供します

2010年年賀状にトキの写真を印刷して送ってみませんか。みなさんの年賀状に使っていただくため、放鳥トキの画像を用意しました。画像は環境省から提供いただいたものです。利用に際しては次の点を守ってご使用ください。期間中は、自由にダウンロードできます。

○利用期限

平成22年1月7日(木)まで

○利用条件

- ・個人の非営利な使用による、2010年(平成22年)年賀状に限ります。
- ・使用料等はありません(無料です)。
- ・画像の部分使用、修正、改変などは認められません。
- ・商用、法人、団体等の使用の場合は、別途、環境省佐渡自然保護官事務所へお問い合わせください。

○利用にあたっての注意

- ・画像は環境省の提供です。画像の著作権は環境省にあります。
- ・作成方法:ソフトウェア・印刷、その他パソコン作業・ラベル等に関する質問には対応できませんので、ご了承ください。

○ダウンロードの方法

- (1) 画像をクリックすると、大きな画像が表示されます。
- (2) 大きな画像の上で右クリックし「名前

を付けて画像を保存」を選び、ダウンロードします(Windowsの場合)。ダウンロード先は、使用されるパソコン、個人の設定によります。

○提供画像

- ・放鳥トキの画像6種(トキファンクラブホームページからダウンロードできます。)

<http://toki-sado.jp/fanclub/>
トキ野生復帰シンボルデザインの画像(佐渡市ホームページからダウンロードできます。)

◆お問い合わせ

トキ交流会館 ☎24-6040



トキの年賀状を、送ってみませんか!



世界遺産登録に向けて

佐渡市歴史的建造物
造物悉皆調査⑨

新穂地区

○東光院(新穂長畝)

東光院は弘仁元年(810)開基と伝わる真言宗寺院です。山号の「龍龜山」は、佐渡に配流された順徳上皇が名付けたといわれ、寺の周囲の田園風景が風光明媚で、亀の甲羅のように見えたことに由来します。

本堂は1600年代後期の建築で、昭和39年(1964)に瓦葺きの屋根に改修されましたが、内陣回りや隣接する書院は、建立当初の古風な様式をそのままに残しています。境内には、1700年代後期の建築と推定される鐘楼や文殊堂のほか、天保11年(1840)に建てられた豪華な薬師門、明治33年(1900)に再建された重厚な子王大権現堂などが残っており、様々な年代の建造物を見ることができま

○舟城寺(新穂舟下)

舟城寺は文明元年(1469)開基の浄土宗寺院で、現在の建物は新穂の商人山田久太夫によって再建されたと伝えられています。本尊は畔阿弥陀と呼ばれ、かつて火事の際、自ら河畔へ歩いて避難して無事であったという伝説が残っています。

本堂は、近年茅葺きから瓦葺きに改修されましたが、1700年代前半の創建当時の部材も多く見られ、浄土宗寺院としての形式を良く残しています。また、山門は1800年代初期の建築と推定され、太く豪快な柱と、力強い彫刻が印象的です。

◆市役所世界遺産推進課 ☎63-5136

世界遺産出張説明いたします

市民の皆さんが主催する世界遺産に関する勉強会や現地見学会(20名程度)などに、世界遺産推進課職員が出向き、お話・解説をします。事前にお問い合わせください。

